



第 84 号

財団法人 板橋区体育協会
部 3. 25
報 3.
広 24.

青少年スポーツ指導者講習会・全体講演会

日時：12月2日(金)18時30分～
会場：区立文化会館大ホール

講師：長田渚左先生

元フジテレビ系スポーツキャスター、
ノンフィクション作家「スポーツゴジラ」
編集長、大学講師・客員教授他

テーマ：「日本の女性はなぜ強いのか」
～なでしこジャパンに学ぶ～

ノンフィクション作家であり、女性スポーツキャスターの草分け的存在でもある長田渚左氏を迎えた12月2日(金)、青少年スポーツ指導者講習会・全体講演会が区立文化会館大ホールで開催された。

フジテレビ系スポーツキャスターを10年の長きに亘り務めた長田氏は、専門ジャンルをスポーツとする『女性スポーツジャーナリス

ト』としても草分け的存在だが、最近の活動の場はスポーツ界だけにとどまらず、日本ペンクラブ「言論表現委員会」でも活躍。日本衛星放送WOWOWの番組審議会委員、日本女子柔道クラブの理事、日本スポーツ学会代表理事、映倫の青少年委員、早稲田大学スポーツ科学部講師、淑徳大学客員教授も務め、幅広く活躍され



長田渚左先生

ているほか、大学や地下鉄駅で無料配布されている「スポーツゴジラ」の編集長として、「スポーツの持つ奥深さと、スポーツを通しての生きる喜び」を伝える活動されている。

今回の講演会のテーマは「日本の女性はなぜ強いのか」。

長田氏は「日本の女性は元々強い。女性は非力で弱々しいというイメージだが、開花する場があれば強い」と言う。しかし女子のスポーツ界はつらく不遇で報われない時代が長かった。

たとえば、陸上競技！

1928年・アムステルダムオリンピックで銀メダルを獲得した人見絹江選手。実は大会での最初の種目は短距離だったが、レース

に失敗。くやしかった人見選手は、生まれて初めて800メートルレースに挑戦し、見事銀メダルを獲得した。女子力のなせる技である。

または、柔道！

明治の頃、加納治五郎が唱えた「母体保護」の精神により、女子柔道の開花は遅れた。しかし、山口香選手の活躍が女子柔道の礎を築き、次の時代にバトンを渡した。

山口選手は「女だから・女のくせに」という厳しい時代空気の中、「甘えは許さない、男女の差別をつけない練習」という方針のコーチのもと、小柄な体格を生かした足技・小内がりで「負けない柔道」を目指した。自分の体を守り、頭脳プレーを目指した山口選手の柔道は結果的に強いものとなった。



そして、サッカー！

アルバイトをしながら地道に練習を続け、地固めをした結果が見事花開いたのがなでしこ。女子サッカーも「女のくせに」という不遇な時代が長かった。しかし、不遇な時代が長かったからこそ、ドアを開ける時にはしっかりと開けられる強さにつながった。

自分のやりたいことをやり続けることが、自分の人生の舞台で花を開くことにつながる。やりたくてもやれないという厳しい時代を経た今、女性の可能性はこれからまだまだ広がるはずだ。

「大失敗をさらし、それをどうやってかわしていくのか？」という人間そのものが、丸ごと出る面白さ」がスポーツの素晴らしさだと



熱心な討議が会長会

長田氏は言う。
昨年3月の大震災により日本中が悲しみと痛みに包まれ、今なおその悲しみは癒えないが、その中での「なでしこジャパン」の活躍

平成23年度 会長会議 議題充実

寒さが続く2月3日(金)の午後6時30分から、志村コミュニティホールに於いて平成23年度の加盟団体会長が開催された。会議は、体協役員・理事17名、加盟団体会長・会長代理を含む24

で救われた人も多いと思う。

長田氏の熱い思いが詰まったフリースペーパー「スポーツゴジラ」を皆さまも、是非お読みください。

広報部・吉谷 記

名の出席により、平成23年10月26日に行われた理事長会の報告を中心に、体協から各議題の詳細説明と協力要請、および質疑応答が活発に行われた後、懇親会が行われ

平成24年度

体協賀詞交歓会盛況！

昨年末からの「観測史上3番目」という異常乾燥注意報35日間連続がやっと終わり、雨で迎えた1月20日(金)、体協理事、評議員、加盟各団体、区内各界からの来賓等、多くの関係者が出席した、平成24年度の活動の始まりとなる恒例の体協賀詞交歓会が、文化会館四階大会議室で午後6時30分より開催された。

て解散した。

〔主な議題〕

- 1、平成23年度事業について
 - ①実施事業の報告
 - ②計画事業への協力要請
- 2、期マスタープラン、事業計画(案)について
 - ①中期マスタープラン
 - ②平成24年度事業計画(案)
- 3、公益財団法人について
 - ①経過報告
 - ②評議員、役員について
 - ③賛助会費について
 - 4、その他

時任総務部長の司会により、中尾副会長の開会の言葉「昨年の未曾有の大震災を忘れてはいけないが、明るい話題で楽しい賀詞交歓をしましょう」を皮切りに、野瀬会長が「スポーツは文化を創造する」「6月20日を目標に、体協の新公益法人化」、そして昨年度の都民大会における(特に卓球女子)選手の健闘を称える挨拶。続いて来

賓の坂本区長から「スポーツは人々に感動と勇気を与える」「スポーツの力は明日の板橋をつくる」と、「スポーツ環境の充実と整備」の祝辞を戴き、石井区議会議員、菅都議会議員、下村衆議院議員にそれぞれ祝辞を戴いた後、高澤専務理事が来賓各位を紹介後、飯田顧問の「今年の干支の龍のように元氣よく乾杯！」のご発声で、各テーブルや会場内で歓談の輪が和やかに広がった。8時には中締



挨拶する坂本区長

連盟協会だより

軟式野球連盟
23年度全大会は年内終了
24年度開催に向けて始動！

第64回区民体育大会
第64回区民体育大会軟式野球競技の部は、9月11日に開幕。

天候不順などの影響で大幅に試合が遅れ、一般の部の4〜6部と学童の部が11月27日に、1〜3部は12月4日にそれぞれ決勝戦が行われ、少年の部は、学校行事の都合で遅れていた準決勝、決勝戦が12月11日に行われて区民大会を終了した。

平成23年度秋季大会
秋季大会は、6月12日より開始し夏季大会と並行して行ったが、9月11日から区民体育大会が始まったため、区民大会が秋季大会に優先して進化した。この結果、秋

めを庭野相談役が、及川副会長の閉会の言葉でお開きとなった。足元の悪い中をご参加下さった関係各位の皆様には御礼を申し上げます。

ます。公益法人への移行等、本年も体協一丸となって進んでいきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。 広報部・福岡記

季大会の1〜6部の決勝戦は12月18日に行われ、各部で熱戦が繰り上げられた。

閉会式の後、一年間お世話になったグラウンドの墨をお神酒と塩で清め、船山廣夫審判部長の音頭で手締めを行い、平成23年度を締めくくった。

平成24年度第1回審判部会
新年早々の平成24年1月7日、平成24年度の第1回審判部会が開催され、審判技術講習会の内容について討議した。特に同部会で、先の全日本軟式野球連盟公認一級審判員認定試験に受験した3名全員合格の発表があった。

平成24年度チーム登録受付
平成24年度のチーム登録が1月27日〜29日の3日間にわたって受け付けが行われた。

柔道連盟
学校の格技採用で、指導者、受け身指導重視

12月4日、講道館において第56回東京都24地区対抗柔道大会が開催され、板橋区は上位8チームによる第一部Aブロックにはいり、第一試合〓板橋区0―5世田谷区第二試合〓板橋区4―0北区第三試合〓板橋区1―4千代田区という成績の結果、同率第3位となり第一部残留となった。

12月11日には連盟忘年会が開催され、一年間を労いあった。本年4月から学校教育に格技が採用されるが、柔道においては特に怪我や事故が懸念されており、講道館においても指導者に対して講習会を開催し、今一度基本に立ち返って勉強することになっている。

言うまでもなく柔道の基本は受け身であり、この基本をきちんと理解して行うことによって怪我や事故の防止にもつながる。板橋区の区民大会でも指導者の先生方が基本である受け身を徹底

して教えていることもあり、ほとんど大きな事故や怪我は発生していない。今後も継続して基本を大事に指導していく所存である

水泳連盟
連盟の近況報告

新年早々、上板橋体育館室内プールの安全確認点検が行われた結果、屋根ガラスにひび割れが多く発生していたことが判明。万一の災害に備えて緊急工事となった。 一般・小学生・幼児の水泳教室を予定していた当連盟は急遽中止し、参加者の他への教室移動、その他の対応に追われてのスタートとなった。なお、赤塚・東板橋・高島平温水プールでの水泳教室は現在順調に行われている。

また、改修工事が昨年終了した高島平温水プールでの通年の連盟主催月曜日教室を再開。この寒い時期、参加者の皆さんはとても元気に泳いでいる。

連盟指導員として、指導上の心構えや技術の共通理解を図るために、年4回開催している本年度最後の指導員研修会が2月29日(水)

場で実施され、2日間で657名が受講した。

第1日 2月5日
午前〓1・2部、午後〓3部
新規。

第2日 2月12日
午前〓4・5部、午後〓6部。
専任審判技術講習会

引き続き(専任審判講習会)が2月11日・19日の2日間にわたって城北公園野球場で実施され、特に19日には全軟連審判技術指導員による実技指導があり、2日間で107名が受講して3月4日からの春季大会開幕に備えた。

吉田輝夫 記



専任審判講習会

日に高島平区民館で午後6時30分から開催され、各議案の審議に引き続いて、チームおよび個人の表彰が行われた。

第一号〜三号議案〓平成23年度事業報告、決算報告(承認)。 第四号議案〓平成24年度事業計画、予算案(承認)。 第六号議案〓役員改選(承認)。 第七号議案〓連盟規約改正(承認)。

成績優秀チーム・個人表彰。 チーム審判技術講習会 今年度の(チーム審判技術講習会)が左記の日程で城北公園野球場



チーム審判講習会



2月講習会



高島平温水プールで行われた。 来年度の水泳教室の準備もはじまり、指導員一同、より一層、気合がはいるところである。

第64回区民体育大会水泳競技会は4年ぶりに長水路で開催されたが、来年度も長水路での開催希望が多く、これに因應するよう準備を進めているところである。課題はあるが、関係者一同、来年度もより一層力合わせて盛り上げていく所存である。



東京消防庁から感謝状と体協功労者を祝う会

ローラースポーツ連盟 ローラークラブ 30周年パーティー開催

板橋区ローラースポーツ連盟に所属する志村ローラークラブは、スピード、ホッケー、フィギュア

の三部門を持ち、青少年を対象に全日本大会出場も目指している。30年の歴史の中では、スピード世界選手権、アジア大会代表。ホッケーでは、アジア大会ジュニア代表。フィギュアでも世界選手権への代表を送り出している、と言ってもガチガチのクラブではない。執行部の会長、監督、コーチに加え、自主的運営組織をもつ父母の会がクラブを支えている。保護者も応援だけではつまらぬと、自らがローラーシューズを履いて楽しみ、厳しさを味わい、我が子に抜き去られる瞬間を体験し、子どもと同じ目線でスポーツを語り合える（これが子育てに良い！）。日常練習・合宿と厳しい練習のほか、焼き肉パーティー、花見、お疲れ様パーティーなどは子供が実行委員会で企画運営する（これは社会に出て大きな力となる）。

この度の30周年パーティーは大人の実行委員会が力のみせどころと、十カ月を費やして30年分の機関紙を再編集、記念品の発注、記念誌制作は子供と周回版を完成。そして平成23年10月の記念パーティーは、グリーンカレッジ大ホールに、秋田、大阪からのOBを含



30周年を祝うパーティー

めた110名を集めて盛大に開催された。5年、10年とクラブに関わったことを宝に、執行部は今後も更に地道にじっくり子育てするクラブづくりを再認識して閉会した。日比野 記

ユニホック協会 第64回区民大会 ユニホック競技開催

年明けの1月29日(日)、区立上板橋体育館に於いて第64回区民大会ユニホック競技を開催した。本年度は男子・混成・シニアの



区民大会優勝チーム集合!

3部門とし、男子4チーム混成7チーム、シニア3チームが出場して熱戦が繰り広げられた。
試合結果
男子の部
優勝 大原ヤングジャガース
2位 selshin
3位 高島平モンスター
混成の部
優勝 高島平オパンシスターズ
2位 高島平コパンシスターズ
3位 中板ウインズ
シニアの部
優勝 レモン
2位 高島平B&G
3位 オール板橋

平成24年度事業計画(案)

左記の内容は、3月30日(金)の評議員会で正式決定となります。

1、体育大会

①第65回都民体育大会

・選手団結団式 4月23日(月) 文化会館4階大会議室

・開会式派遣 5月13日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

・種目別競技 5月～6月、および夏季・冬季

・閉会式派遣 6月17日(日) 東京都庁

②第65回区民体育大会開会式

9月9日(日)小豆沢体育館

③都民生涯スポーツ大会・都民スポレクふれあい大会選手派遣 8月～11月

2、スポーツ教室等(区委託事業)

①水泳教室 4施設 各1回

②喘息児水泳教室 1回

③第35回板橋区少年少女サッカー選手権大会 7月

3、第37回高島平・日刊スポーツロードレース大会

10月21日(日) 日本陸連公認 高島平周回コース20km・10km・5km

4、スポーツ講習会(区委託事業)

◎青少年スポーツ指導者講習会

①第一講座 6月8日(金) 文化会館4階大会議室

②第二講座 9月1日(土) 文化会館4階大会議室

③全体講演会 12月7日(金) 文化会館大ホール

5、研修および教室等(自主事業)

①指導者交流研修会(旧指導者研修会) 6月23日(土) 24日(日) 場所未定

②スポーツ教室 区民ハイキング(年1回) 5月26日(土) 山梨県・紅葉台

③審判講習会(3団体)

④指導者養成講習会(3団体)

⑤中級者スポーツ講習会(6団体)

⑥救急・救命講習会 8月25日(土)13:30～16:30 文化会館4階大会議室

6、ジュニア育成地域推進事業(東京都体育協会共催事業)
7、加盟団体会長会・理事長会 10月27日(土)グリーンホール2階ホール

8、機関紙の発行

①板橋区体育年鑑 9月発行

②体協ニュース 年3回発行 各1000部発行

9、評議員会(総会)・都民体育大会報告会

①定時評議員総会 6月26日(火) 小豆沢体育館多目的室

平成23年度事業報告・決算報告等

②体育協会総会・都民体育大会報告会 7月11日(水) 文化会館4階大会議室

10、加盟団体代表委員会

・小豆沢体育館多目的室 6月13日(水)

・平成25年3月13日(水) 小豆沢体育館多目的室

11、新年賀詞交歓会 平成25年1月25日(金) 文化会館4階大会議室

12、板橋C i t yマラソン 平成25年3月17日(日) 板橋区荒川河川敷特設会場

13、平成24年度スポーツ少年団第

26回城西プロックススポーツ交流大会 平成24年6月～8月 板橋区内スポーツ施設

〈協力団体〉: 軟式野球・バドミントン・バスケットボール・サッカー・少林寺拳法

広報部・下野 記

編集後記

2020年の東京五輪招致委員会、開催計画の概要にサッカーの1次リーグの一部を東日本大震災で被災した宮城県の宮城スタジアム(利府町)で開催することが盛り込まれ、五輪のテーマの一つに「震災復興」をうたい、「スポーツの力が、いかに困難に直面した人々を勇気づけるかを世界に示す」と開催の意義を強調した。

板橋区体育協会は、4月には新公益法人に移行する。

「スポーツ文化を育てる」を合言葉に、加盟団体とのチームワークをより強固に区民スポーツの輪を広げていくことを根幹に、ジュニアスポーツの育成、生涯スポーツの振興などに取り組み、より一層、関係各位と一丸となって事業を推進していく。